

## ■レディスプレリユード(Jpn II)アラカルト(過去 10 年の分析)

※第 1 回から第 7 回まではTCKディスタフ競走として実施

※第 8 回(平成 23 年)より交流競走として実施されるのに伴い競走名もレディスプレリユードに変更

※第 10 回(平成 25 年)よりダートグレード競走(Jpn II)として実施

※記録は 8 月 10 日時点のもの

### ■スパークングレディーC(川崎・1600m)との関連性が高い

※同年のスパークングレディーカップの出走馬は、4 勝、2 着 3 回、3 着 3 回と、TCKディスタフの時代から好走馬が多い。

◇第 5 回優勝	パフィオペディラム ←	スパークングレディーC	9 着
2 着	ダイワオンディーヌ ←	"	14 着
◇第 7 回 3 着	テイエムヨカドー ←	"	4 着
◇第 8 回 2 着	ラヴェリータ ←	"	1 着
◇第 9 回優勝	ミラクルレジェンド ←	"	3 着
◇第 10 回優勝	メーディア ←	"	1 着
3 着	レッドクラウディア ←	"	3 着
◇第 11 回 3 着	カチューシャ ←	"	2 着
◇第 12 回優勝	サンビスタ ←	"	3 着
2 着	トロワボヌール ←	"	1 着

※第 4 回、第 5 回を連覇したパフィオペディラムは、第 4 回優勝時にはスパークングレディーC不出走。

※今年のスパークングレディーC上位組は 1 着ホワイトファーガ、2 着ブルーチップー、3 着タイニーダンサー。

### ■3歳馬の動向

※20 頭が出走し 1 勝、2 着 1 回、3 着 1 回と苦戦傾向。

◇第 6 回優勝 ツクシヒメ(黒潮盃 1 着、東京プリンセス賞 3 着、関東オークス 2 着)

◇第 7 回 2 着 ハーミア(戸塚記念 1 着、黒潮盃 3 着、関東オークス 2 着)

◇第 12 回 3 着 ホワイトファーガ(ブリーダーズゴールドカップ 3 着、関東オークス 1 着)

### ■優勝馬は牡馬と互角に戦える実力の持ち主

◇第 3 回 アウスレーゼ(後にマイルグランプリ 2 着、大井記念 3 着など)

◇第 4 回 パフィオペディラム(北海道重賞 1 着、後にアフター5スター賞 3 着)

◇第 5 回 パフィオペディラム(北海道重賞 1 着、後にアフター5スター賞 3 着)

◇第 6 回 ツクシヒメ(黒潮盃 1 着)

- ◇第7回 ザッハーメイン(後に川崎マイラーズ1着)
  - ◇第8回 ミラクルレジェンド(JDD4着、後に帝王賞5着)
  - ◇第9回 ミラクルレジェンド(JDD4着、帝王賞5着)
  - ◇第11回 ワイルドフラッパー(平安ステークス3着)
  - ◇第12回 サンビスタ(チャンピオンズカップ4着、後にチャンピオンズカップ1着)
- ※唯一の例外は第10回優勝のメーディアだが、牝馬限定のダートグレード競走を3連勝後、本レースに優勝。また直後のJBCレディスクラシックを制覇。

### ■重賞実績を重視

- ◇3着以内の30頭中、18頭が重賞あるいはダートグレード競走で勝利。
  - ※1着9回、2着4回、3着5回。
- ◇交流重賞になった8回以降の3着内馬15頭では5勝、2着3回、3着3回と好成績。

### ■前2走とも掲示板(5着)を外していた馬は、3着以内の30頭中3頭

- 第5回3着 パノラマビューティ ←9着、15着
- 第6回3着 ユキチャン ←6着、6着
- 第9回3着 ダートムーア←6着、11着

### ■馬体重の増減は一桁が理想

- ※3着以内30頭中27頭が一桁の増減だった。

### ■船橋所属馬が優勢だったが、交流競走になってからはJRA所属馬が圧倒

- ◇TCK所属馬 1勝、2着3回、3着2回。3着内率20.0%
  - ◇船橋所属馬 4勝、2着2回、3着2回。3着内率26.7%
  - ◇川崎所属馬 0勝、2着0回、3着1回。3着内率3.3%
  - ◇JRA所属馬 5勝、2着5回、3着4回。3着内率46.7%
  - ◇他地区所属馬 0勝、2着0回、3着1回。3着内率3.3%
- ※第8回から交流競走として実施以降の5回は、JRA所属馬が《5・5・4》と圧倒。

### ■他地区所属馬は苦戦

- ※41頭が出走し、第8回エーシンクールディ(笠松)の3着が最高成績。

### ■外国産馬は1勝

- ※7頭が出走して1勝、2着1回、3着1回と好成績。
- ◇第7回優勝 ザッハーメイン
  - ※ザッハーメインは第5回出走(このときは兵庫所属)の際は4着だった。

■4歳馬、5歳馬が主力

◇3歳馬 1勝、2着1回、3着1回。3着内率 10.0%

◇4歳馬 3勝、2着1回、3着3回。3着内率 23.3%

◇5歳馬 5勝、2着6回、3着2回。3着内率 43.3%

◇6歳馬 1勝、2着2回、3着4回。3着内率 23.3%

※7歳以上の3着以内は一度もない。

■1、2番人気馬が9勝

◇1番人気馬の着順 ①、④、①、③、②、②、①、①、①、④着

5勝、2着2回、3着1回。3着内率 80.0%

◇2番人気馬の着順 ②、①、⑪、①、①、①、⑥、③、②、①着

5勝、2着2回、3着1回。3着内率 80.0%

◇3番人気馬の着順 ⑥、⑤、⑦、④、⑫、⑤、②、⑤、⑧、②着

0勝、2着2回、3着0回。3着内率 20.0%

※3番人気馬の不振が目立つ一方、6番人気以下の馬が0勝、2着4回、3着5回。

3着には8番人気以下の馬が3回と活躍。

■岩田康誠騎手が3勝

※岩田康誠騎手は第8回、第9回をミラクルレジェンドで連覇し、第12回をサンビスタで優勝。

■2勝調教師は2人

※第4回、第5回を連覇した岡林光浩調教師、第8回、第9回を連覇した藤原英昭調教師が2勝で並ぶ。

■⑤番と⑫番が2勝

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	0	0	0	1	2	1	1	1	0	0	0	2	1	0	1	0
2着	1	0	1	2	0	1	1	0	2	0	1	0	1	0	0	0
3着	1	0	1	1	1	1	0	1	0	1	1	2	0	0	0	0

## ■レディスプレリユード(Jpn II)アラカルト(過去全12年の分析)

※第1回から第7回まではTCKディスタフ競走として実施

※第8回(平成23年)より交流競走として実施されるのに伴い競走名もレディスプレリユードに変更

※第10回(平成25年)よりダートグレード競走(Jpn II)として実施

※記録は8月10日時点のもの

### ■1、2番人気馬が11勝

◇1番人気馬 6勝、2着2回、3着1回。3着内率75.0%

◇2番人気馬 5勝、2着2回、3着1回。3着内率66.7%

◇3番人気馬 0勝、2着2回、3着0回。3着内率16.7%

※3着馬は4番人気以下の馬で10回を占めている。

### ■3番人気以内の馬による勝率は91%超

◇12回中11回は、上位3番人気以内の馬による勝利。確率91.7%

◇12回中6回は、上位3番人気以内の馬によるワンツー。確率50.0%

◇これまで上位3番人気以内の馬によるワンツースリーはない。

### ■5歳馬が6勝で圧倒

◇3歳馬 1勝 勝率8.3%

◇4歳馬 3勝 勝率25.0%

◇5歳馬 6勝 勝率50.0%

◇6歳馬 1勝 勝率8.3%

◇7歳馬 1勝 勝率8.3%

※8歳以上は3着以内が一度もない。

### ■外国産馬は1勝

第7回 ザッハーメイン

### ■交流競走になってからはJRA所属馬が圧倒

◇TCK所属馬 1勝、2着5回、3着3回。3着内率25.0%

◇船橋所属馬 6勝、2着2回、3着3回。3着内率30.6%

◇川崎所属馬 0勝、2着0回、3着1回。3着内率2.8%

◇JRA所属馬 5勝、2着5回、3着4回。3着内率38.9%

◇他地区所属馬 0勝、2着0回、3着1回。3着内率2.8%

■岩田康誠騎手が3勝

※岩田康誠騎手は第8回、第9回をミラクルレジェンドで連覇し、第12回をサンビスタで優勝。

■2勝調教師は3人

※第4回、第5回を連覇した岡林光浩調教師、第1回、第6回を制した山浦武調教師、第8回、第9回を連覇した藤原英昭調教師が2勝で並ぶ。

■3勝の⑤番がラッキーナンバー

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
1着	1	0	0	1	3	1	1	1	0	0	0	2	1	0	1	0
2着	1	0	2	2	0	1	1	0	2	1	1	0	1	0	0	0
3着	1	0	1	1	1	1	0	3	0	1	1	2	0	0	0	0

■3枠と7枠が3勝

馬番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1着	1	1	3	0	1	2	3	1
2着	1	1	4	1	3	0	1	1
3着	1	0	3	3	1	4	0	0